

<b>時間割</b>
------------

※座席は**指定**となります。  
 ※休憩時間は**10分**、昼休みは1時間**(12:10～13:10)**です。

【選択必修領域講習】講習名：**⑦幼稚園を巡る近年の状況の変化(狭山キャンパス)**

月日	時限	時限	タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/7 (水)	1限	9:00～10:30	幼稚園を巡る近年の状況と園内研修～保育の質をどのように向上させるか～	近年、幼児教育・子どもを巡る状況は大きく変化してきている。その中で子どもの健やかな育ちを保障する質の高い保育を実現していくために、それぞれの教育現場では何をすべきか。どのようにして、教師一人ひとりの力量を高め、総体としての園の教育力を向上させていったらよいか。ビデオを使った園内研修への取り組みを参考例としてとりあげ論じていく。	岸井慶子	講義	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10	子どもを取り巻く保育環境・教育環境の変化～新学習指導要領における資質・能力の視点を踏まえて～	新学習指導要領が2019年4月から動き出している。幼稚園・保育園・こども園における各保育内容の組み立ての基盤は、「環境を通して行う」ものである。こうした折、子どもたちを取り巻く生育環境や遊び環境にも多くの変化が表れており、こうした現状を有意に活用する工夫を学ぶことを目指す。	大澤 力	講義	筆記試験	特になし
	3限	13:10～14:40	発達障害(障がい)は増えている？	近年「集団行動に参加できない」「かんしゃくをおこす」など、行動や社会性の問題を示す子ども達が増えていると話題になっているが、それら全てを「障害」とすべきか議論も起こっている。医療界で汎用されるDSM-5の和訳では「発達障害」から「神経発達症群」と変更された経緯を理解し、子ども達の「行動の問題」にどのように対応していくべきか論じる。	宮島 祐	講義	筆記試験	特になし
	4限	14:50～16:20	「行動の問題」の背景にあるものは？ 家庭と幼稚園の連携構築の重要性	子どもが愛着を示す時期である幼児期こそ、信頼される大人としての存在感は不可欠と考えられる。家庭と幼稚園が互いに信頼できる関係構築こそ連携の第一歩であるが、その一方で「行動の問題」の背景には気質の遺伝、乳幼児期からの環境、不適切な対応などさまざまな要因が関与している事実を学び、幼稚園教諭だからこそできる事は何かを理解する。	宮島 祐	講義	筆記試験	特になし

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

**\*講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**